

項目	意見番号	委員意見	対応（案）
防災・維持管理 検討資料	1	河合委員 <ul style="list-style-type: none"> 波高・潮位等を観測して、気候変動が起きているかどうかをモニタリングすることも重要であると考えているので、そうした要素を加えるべきである。 「発災時における船舶のリスク低減策の強化」について、分かりづらいので「衝突」というキーワードを追加した方が良い。 橋りょう・トンネルの長寿命化対策について、気候変動や施設の周辺状況等の変化により、使い方・求められる性能等も変わってくるため、施設全体としてより長く使えるよう、広い意味で考えていくべきである。 	全体の取りまとめにおいて記述に留意していく
	2	玉井委員 <ul style="list-style-type: none"> 感染症に対して、東京港ではどのような対応がとられているのか。 	関係機関と連携して、水際対策を実施している
	3	根本部会長 <ul style="list-style-type: none"> 感染症に対して、東京港でコンテナ船の乗組員等にサポートできることはあるのか。 	
	4	多田委員 <ul style="list-style-type: none"> 「ICTを活用した情報共有及び発信」について、発災時における港湾の周辺状況や貨物の取扱情報等を、幅広くステークホルダーに伝えていくという観点を盛り込むべきである。 	全体の取りまとめにおいて記述に留意していく
	5	<ul style="list-style-type: none"> ヒアリの問題は、水際管理だけでなく、国や関係機関と連携して海外の貨物仕出地側の対応についても必要である。 	国から継続的に対策の強化を依頼している
	6	中村委員 <ul style="list-style-type: none"> 「防災船着場を活用した帰宅困難者の輸送」について、発災時における物流機能の維持の施策に入れるのは違和感があるため、再整理をした方が良い。 	全体の取りまとめにおいて記述に留意していく
	7	<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省の「港湾の堤外地等における高潮リスク低減方策ガイドライン」を受けて、何か東京港で実施・検討している取組はあるのか。 	東京港の港湾BCPに基づき、高潮の事前対策等を実施している
	8	柴崎委員 <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で何か災害が発生した場合、従来のBCPと内容が変わってくる可能性もあるのではないかと。 	今後必要に応じて対応を検討していく

第5回検討部会の主な委員意見と対応（案）

項目	意見番号	委員意見	対応（案）
物流環境 検討資料	9	松川委員 <ul style="list-style-type: none"> タグボート等の船舶についても、カーボンニュートラル化に資する視点を加えた方が良い。 	全体の取りまとめにおいて記述に留意していく
	10	吉江委員 <ul style="list-style-type: none"> 次世代エネルギー燃料を輸入するにあたり、それに対応した施設整備の視点を入れた方が良い。 	
	11	中井委員 <ul style="list-style-type: none"> 次世代エネルギー燃料船舶については、まだ技術的な部分では確立されておらず、先がはっきり見えないことを考えれば、まとめ方は今回の記載内容で良い。 	
	12	柴崎委員 <ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラルポートの実現に向けた取組のほか、モーダルシフトについても、今まで以上に推進していくべきである。 	
	13	松田委員 <ul style="list-style-type: none"> SDGsの取組やESGへの対応など、昨今の大きな潮流に則る形で色々と進めるのがよいと考えるので、それらについて積極的に記載すべきである。 	
物流 (その他：小型船だまり等) 検討資料	14	松田委員 <ul style="list-style-type: none"> 東京港において、機能のゾーニングの考え方が非常に重要であり、水域に隣接した地域や陸上施設との回遊性などを踏まえた利用を考えていくべきである。 	資料4-3にて対応
	15	玉井委員 <ul style="list-style-type: none"> 全体的な水辺の利用の仕方など、トータル的なゾーニング計画はどうなっているのか。 	
	16	中井委員 <ul style="list-style-type: none"> 小型船だまりに係留される船舶について、集約なども一つの観点ではあるが、大型船の入出港に不可欠な船舶であるので、防災におけるリスク分散という観点があっても良い。 	全体の取りまとめにおいて記述に留意していく